

9週 人間の墮落

質問 13. 私たちの最初の祖先は、被造された地位のままいましたか。

答え I 私たちの最初の祖先は、任意に自由を行使することで、神に対して罪を犯し、被造された地位から墮落しました。

解説

自由意志

自由意志とは、自分の心に従って誰の干渉を受けずに選択したり、拒否したり、行ったり、行わなかったり、これをしたり、他のことをしたりする自由を意味します。このような自由意志は善を選ぶこともでき、悪を選ぶこともできます。人間が最初に造られた時の自由意志は、善と悪を選べる同時的なものでした。人間の自由意志は従順することもでき、不従順することもできました。神がこのような自由意志を与えたのは被造物である人間が、神に進んで従順することで栄光を帰するようにならせるためでした。そうでなかったなら人間は、ただ人形劇の人形に過ぎなかったからです。

このように人間の自由意志の自然的性質は、善を行えるようになっていまし

た。しかしそのような状態から一変し、悪に傾いてしまう可能性もあったのです。人間が罪の状態に墮落したことによって、自由意志は腐敗し、善を行える自由意志の力は完全に喪失してしまいました。

罪を犯した

アダムとエバが造られた時、傷のない状態でした。神は正しく純粋な状態に人を造りました（伝道書 7:29）。さらに人は、神の戒めを守れる能力も与えられていました。その能力は、聖さと知識も含まれます。しかし、神が食べてはならないと禁じた善悪の実を食べることで、罪を犯しました。人間は自分の意思の決定によって罪を犯したのです。勿論、悪魔の誘惑に説得され、悪巧みによって欺かれ罪を犯したのです（Ⅱコリント 11:3）。人は、自由意志を持っていたので、神の戒めに喜んで従順することで神に栄光を帰すべきだったのに、それらから離れてしまいました。ここで「罪」とは、神の律法に逆らうことを意味します。

罪を犯したことの効果

神が人間に付与した自由意志は、罪を犯したことで、それからは、善を選んだり、善を追及したりすることから離れてしまいました。罪に対する効果によって、彼らが味わっていた特権は取り去られ、それ以上、聖さと知恵と能力は無くなってしまいました。神が造られた完全な状態から離れ、今度は、死と苦しみを味わう悲惨な状態に置かれてしまいます。それからの人間の意志は、善なるものと、聖なるものとは反対に、肉的なもの、情欲的なもの、世的なものを好んで選ぶしかなくなりました。それで人間は、罪と罪過によって死ぬしかない状態に至ってしまったのです（エペソ 2:1-2）。

一層、人間を誘惑した悪魔は、人間を自分の奴隷にし、神には敵対させ、人間社会が、さらに神を排除する場として造って行く方向に、戦略を広めました。

回復の必要性と可能性

人間はこのように、墮落によって、これ以上、自らは望みのない存在になってしまいました。しかし神は、被造物が墮落した時、再び新しい契約という方式で人間と和解することを願われました。それでアダムに、恵み契約をお与えになります（創世記 3:15）。罪を犯し、神と遠く離れてしまった人間は、神が造られた恵み契約の中で、神と和解することができるようになりました。これは、神ご自身が、自ら用意なさったものとして、ご自分の民に、また約束なさったことです。決して人間が、行為や功労を積みあげて、成し遂げられるものではありません。